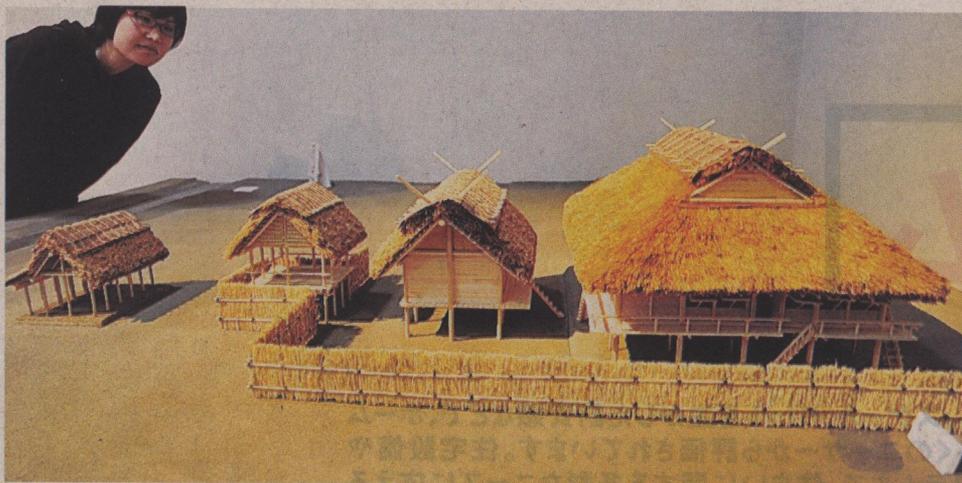


纏向の大型建物 復元模型

「市教委企画展
50^{センチ}下の桜井」

祭祀？桃の種2000個も



50分の1の大きさを復元された纏向遺跡の建物模型—桜井市芝

桜井市教育委員会が2010年度に調査した遺跡の成果などを報告する夏季企画展「50^{センチ}下の桜井」が27日、同市芝の市立埋蔵文化財センターで始まった。纏向遺跡で出土した、3世紀前半としては国内最大の大型建物跡などを復元した模型や、大量の桃の種などを展示。10月2日まで。

中心軸が東西の同一線上に並ぶ計画的な配置がなされていた、大型(南北19・2^{メートル}、東西12・4^{メートル})や小規模の建物跡計4棟について、50分の1の大きさを建物復元した。現地の土や小石を使い、周辺の地形も作った。制作費は約250万円。市教委の橋本輝彦係長は「現地に行っても(埋め戻されて)何も無いという声をよく聞く。せめ

てここに来て、イメージを膨らませてほしい」と話す。建物跡そばの穴から昨年9月に見つかり、祭祀に使った後に捨てられたとみられる2千個を超える桃の種も公開。建物跡のすぐ東側から見つかった3世紀後半、4世紀とみられる柱穴列(南北約9^{メートル})の調査については、写真パネルや図面などで紹介している。

茅原大墓古墳(国史跡)で今年2月に見つかった、笑

っているように見える武人の埴輪(高さ67^{センチ})も展示。その後の調査で、置かれていた場所が古墳上部ではなく、くびれ部だったことが判明。古墳を邪悪なものから守る役割をしていた

ことを説明している。昨年度に調べた11遺跡の遺物や写真パネルなど約300点を展示。大人200円。月・火曜休館。問い合わせはセンター(0744・42・6005)へ。

奈良

銘菓

枯風

雲水堂

田原本町

本店0744(32)2103

駅前店0744(33)2103